

RSシステムの機能改善・AIの活用 ー 行革AI活用プロジェクト「AI（アイ）プロ」ー

内閣官房 行政改革推進本部事務局

これまでの取組（RSシステム／行政事業レビュー見える化サイト）

- 行政事業レビューシート等の作成・公表を「RSシステム」上で行うことで、各府省庁の負担軽減と効率化（2024年4月～）。
- 「行政事業レビュー見える化サイト」では、各府省庁のレビューシート等を一元的に公開し、府省庁横断で、利用者の関心に応じた検索や集計・分析が可能（2024年9月～）。



府省庁職員等がシステム上で入力。入力の効率化とデータの正確性向上を実現。



システム上で、シートを一元管理。外部有識者点検の実施や公開処理も可能。



＜格納データ＞
ビューシート：2021年度以降
セグメントシート：2021年度以降
基金シート：2023年度以降



利用者の関心に
応じた事業の検索（事業名、予算額、予算額増減、執行額、支出先等）が可能。



府省庁単位で、
レビューシートの集
計・分析が可能。

検索条件を入力すると、シートの絞り込みが可能。

1 事業年度 (作成年度) シート種別 事業区分 事業開始年度及び事業終了 (予定) 年度 会計区分 会計

2024 レビューシート

実行方法 支出先名

2 キーワード デジタル

年度: 2024 レビューシート キーワード: デジタル | キーワード基準 事業名, 事業の目的, 事業... X 100,000

▼ 詳細条件

カテゴリ

▼ 数式条件

年度 増減

年度・予算種別 金額

2024 当初予算額 以上 100,000 千円

3

検索例

- ① 2024年度のレビューシート
- ② 事業名等に「デジタル」が入っている
- ③ 2024年度当初予算額が 1 億円以上

集計・分析では検索結果を組織別にドリルダウンが可能。



該当するシートの一覧に
遷移可能。「詳細」ボタ
ンから、個別のシートの
詳細を確認可能。

行革AI活用プロジェクト「AI（アイ）プロ」 開始の背景

AI技術が進展する中、各府省庁が作成するレビューシート等のデータを活用し、行政改革の取組の有効性を更にも高めるため、以下の課題に対して、横断的プロジェクトにおいて検討を開始。

①レビューシート等の質の向上

レビューシートは約5500あるものの、その事業の中身は様々。どのようにすれば、事業の特性にあった適切なロジックモデルを、効率的に設定できるか。

EBPMをさらに進めていく上では、設定している成果指標が適切か、成果指標・実績として利用可能なデータがあるのか、それらのデータは容易に取得できるのか、などを確認していく必要がある。

③RSシステムのUI/UXの改善

RSシステムについて、各府省庁から、以下のようなフィードバックあり：

- ・ 未入力、入力ミスがある項目を減らす仕組みがほしい。
- ・ 支出先法人の住所を表示してほしい。閉鎖済み法人は省いてほしい。等

入力機能の改善により、データの正確性の確保やシートの作成・確認作業の効率化（行政コストの低減）に繋げていく。

これにより、ねん出された時間を、事業の効果を高めるための執行上の工夫や、新たな政策の検討に充当（行政の生産性向上）。

②AI技術の活用

AI技術を活用することで、その質の確保や、EBPMに必要なデータの探索等を効率化できないか。

- （１）事業の目的等の記述部分、
 - （２）ロジックモデルや成果目標・指標・実績等のEBPMに関する部分、
 - （３）事業所管部局・外部有識者・省内の行政事業レビュー推進チームによる点検・評価に関する部分、
- のそれぞれについて、AI技術を活用できないか。

④「見える化」の充実・強化

RSシステムについて、各府省庁から、以下のようなフィードバックあり：

- ・ 複数キーワード、複数の数式条件で検索したい。等

検索・分析機能の拡充により、国民への「見える化」を充実・強化するだけでなく、予算編成過程等でレビューシート等のデータを活用することにより、ワイズ・スペンディングに繋げていく。

「AIプロ」の方向性

①レビューシート等の質の向上、②AI技術の活用、③RSシステムのUI/UXの改善、④「見える化」の充実・強化に向けて、以下の3つの取組を進めていく。

1. 行政事業レビューAIアイデアソン・ハッカソン		2. レビューシートのデータ分析及びAIの利活用等に関する調査研究		3. RSシステムの機能改修	
テーマ	第1弾（案）： 行政事業レビューシート作成・点検に関する各府省庁の課題を解決	項目	A) レビューシートの質の分析 B) レビューシートの質の向上におけるAIの活用可能性の調査 C) 他システムとの連携の可能性、効率化、データの正確性の確保に向けた調査 D) AI活用及び他システムとのデータ連携を前提としたデータ構造のあるべき姿の検討 E) 次期RSシステムに取り込むべき必要事項の整理 等	項目	A) 入力機能の改善や作成支援機能の強化 B) データ利活用のための検索機能の強化 C) 「見える化」の充実・強化のための機能追加 等
参加者	課題を持つ：行革事務局、各府省庁(P) 解決する：エンジニア等				
期間	事前に随時 課題の募集 春頃（P）アイデアソン・ハッカソン				

議論いただきたい点

●「AIプロ」について、今後、期待する事項や留意すべき事項は何か？

レビューシート等のさらなる見える化のためのRSシステムの機能改善等（行政改革推進本部事務局） 令和6年度補正予算額 4.1億円

事業概要・目的

- 表計算ソフトで作成し各省HPで公表していた行政事業レビューシート等を、作成・管理・公開を一元的に行えるようにR6年度よりシステム化。R6年9月に「行政事業レビュー見える化サイト」で一般公開を開始。
- 予算関連情報の「見える化」の充実・強化、データの利活用、EBPMのさらなる推進のため、骨太の方針やR7当初予算概算要求での活用状況を踏まえ、検索機能や作成支援機能の強化等の機能追加を行う。
- また、レビューシート等の作成作業のBPRや経年で蓄積されていくデータの利活用をさらに進めるため、他のシステムとのデータ連携やAIの活用も視野に入れ、データの利活用やデータ構造の精緻化等について、調査研究を行う。

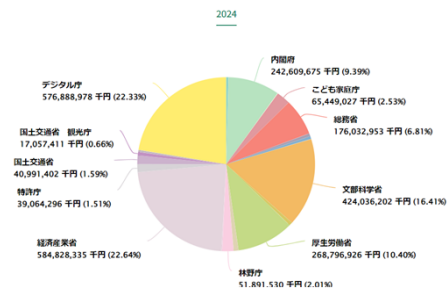
実施施策（機能改修）

- ① 予算関連情報の「見える化」の充実・強化のための機能追加
- ② データ利活用のための検索機能の強化
- ③ 作成支援機能強化によるBPRの推進 等

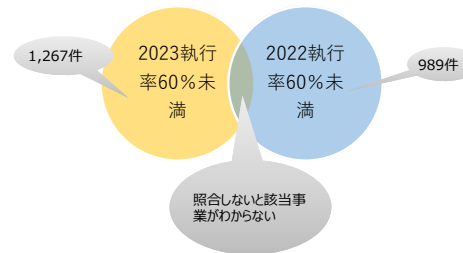
実施施策（調査研究）

- ① レビューシート等の作成支援機能へのAI技術の活用可能性調査
- ② 他システムとのデータ連携の可能性調査
- ③ ①②を踏まえたデータ構造の精緻化等の検討 等

分析機能のドリルダウンの多角化



複数条件での検索機能の実装し、より精緻な抽出
(ex 2年連続執行率60%未満)



AI（取り込み・分析しやすいデータ構造）

